

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積:3,236.85㎡ ○建物の構造*鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.6㎡ ・管理棟及び車庫の一部 計152㎡ ○各障害福祉サービス定員 ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人		
主な業務内容	1施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 2利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	近隣施設 ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:生活介護(15人)、短期入所(15人)、児童発達支援(15人)及び医療型障害児入所(療養介護)(80人)
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	生活介護	99	99	99	
	短期入所	9	9	10	
	施設入所支援	87	89	89	
	利用者数合計	195	197	198	
	目標値	204	204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対25年度比	-	101.0%	101.5%	104.6%
利用率	95.6%	96.6%	97.1%	100.0%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	449,290,541	419,428,000	422,473,024	420,030,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	226,528	0	383,150	0
	収入合計(A)	449,517,069	419,428,000	422,856,174	420,030,000
支出	人件費	244,534,642	275,320,000	262,046,405	293,120,000
	県への納付金	15,099,000	5,116,000	5,116,000	0
	管理運営費	115,401,849	138,992,000	115,485,198	126,910,000
	うち外部委託費(B)	11,936,178	12,000,000	10,207,944	12,000,000
支出合計(C)	375,035,491	419,428,000	382,647,603	420,030,000	
収支差額(A-C)	74,481,578	0	40,208,571	0	
外部委託比率(B÷C)	3.2%	2.9%	2.7%	2.9%	
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年1月～2月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:97人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談や要望対応	51.3%	41.0%	6.4%	1.3%
プライバシー	60.5%	28.4%	4.9%	6.2%
食事	30.9%	34.6%	25.9%	8.6%
入浴や身だしなみ	48.2%	43.0%	6.3%	2.5%
健康管理	72.7%	22.1%	5.2%	0.0%
買い物や外出	37.2%	35.9%	20.5%	6.4%
施設全般の満足度	43.6%	44.1%	8.9%	3.4%

利用者の意見	<p>○施設の利用に伴う意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り旅行や、お泊まりの旅行があつて楽しかった。 ・納涼祭が家族やお友達みんなで楽しめて良かった。 ・病気の時、すぐに治療してくれて安心した。 <p>○食事についての意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のおかずを増やして欲しい。おいしいご飯が食べたい。 ・いろいろな活動に参加してみたい。たくさん外出したい。 ・落ち着いて過ごせる部屋が欲しい。
利用者の意見への対応	<p>○施設の利用者が引き続き、楽しく生活できるよう行事等を企画し、取り組んでいきます。</p> <p>○食事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の嗜好調査を踏まえ、28年度から施設独自で契約した給食業者による適温給食の提供を進めていきます。 ・利用者の外出の機会を増やせるよう、取り組んでいきます。 ・障害の特性を踏まえ、気持ちよく生活できる空間のあり方について、さらに検討していきます。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の不具合について、速やかな対処ができています。業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。老朽化した設備について、異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、各サービスとも概ね計画どおり執行が出来た。	概ね計画どおりの利用が図られている。
収支状況	今後は人件費増が見込まれることから、引き続き、効率的な運営に努めていく。	県職員の派遣期間が平成27年度で終了することから、人件費の増額を見込んだ効率的な運営を図ること。
自主事業	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。
利用者満足度	「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	全体的には満足を得られているものの、食事や外出の項目では不満足と感じている利用者の割合が高いことから、引き続き利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好である。 ○質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。 ○利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力している。 なお、県職員の派遣終了に伴い確保した職員について、事業所全体でフォローアップするなかで、早期に利用者との信頼関係を築き、円滑な施設運営に取り組むよう努められたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き利用者の満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていきます。 ○今後も、条例、協定等に基づき施設管理運営業務を適正に履行してまいります。 ○利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう個別支援計画を作成し必要な支援を行っていく。また、職員確保については、養成校など広く募集活動を行って採用活動に注力してまいります。 	

8 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

